

平成 2 0 年度  
教育委員会予算要求方針

【目次】

- 1 平成 2 0 年度教育委員会予算要求総括表 . . . . . 1
- 2 平成 2 0 年度教育委員会経営方針 . . . . . 2
- 3 重点的に取り組みを行う主なもの . . . . . 3  
(ハートフル北九州構築関係)
- 4 事務事業の見直し等 . . . . . 6

# 1 平成20年度教育委員会予算要求総括表

## 【一般会計】

平成20年度要求総額 37,194,575千円  
 (平成19年度予算額 34,351,531千円)  
 前年度比 +8.3%

## 《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成20年度 予算要求額 A	平成19年度 予算額 B	増 減 A - B
子どもの未来を ひらく教育改革 会議	6,689	5,000	1,689
さわやかトイレ 整備事業	711,600	376,811	334,789
中学校完全給食 モデル事業	68,535	0	68,535
体力アップ推進 事業	65,338	0	65,338
スクールヘルパ ーの充実	62,647	60,739	1,908
市民チーム育成 支援事業	30,000	30,000	0

## 2 平成20年度 教育委員会経営方針

教育委員会では、「ハートフル北九州(人にやさしく元気なまち)」の構築という「平成20年度北九州市経営方針」に基づき、「平成20年度予算編成方針」の中で重点戦略分野に設定された教育委員会関連項目について積極的に推進していく。

更に、「北九州市教育行政総合計画」(いきいき学びプラン)の着実な推進により、子どもから高齢者まで、すべての市民が生き生きと学び、健やかで豊かな生活を送ることができるよう、本市の教育行政全般の活性化を目指す。

### (1) ハートフル北九州の構築

子育て・教育・福祉等の充実により生活の質を向上させる「人にやさしいまちづくり」を推進するため、教育委員会では「子どもの未来をひらく教育改革会議の開催」をはじめ、「少人数学級の実施」、「中学校完全給食モデル事業の実施」、「学校トイレの整備」などに取り組む。

### (2) たくましく健やかな子どもの育成

健康な体と健全な心が備わった子どもの育成を図ることを目的として、「体力や学力の向上」や「豊かな心の醸成」、「個性や特性を伸ばす教育」などを目指し、「体力アップ推進事業」などに取り組む。

### (3) 市民の健康と生きがいづくりの支援

市民がさまざまな生涯学習活動を通して、健康を維持し、生きがいや自己実現を果たすことができるよう、「市民の健康づくり」や「生涯学習の推進」、「潤いのある文化空間の提供」などを行うため、「博物館等の企画展充実」などに取り組む。

### (4) 学校・家庭・地域の教育力活性化

子どもの健やかな成長には、「学校教育」だけではなく「家庭での教育」や「地域の協力」が不可欠であるため、「学校・家庭・地域の教育力」を高めるとともに、「教育基盤の整備」を行うため、「スクールヘルパーの充実」などに取り組む。

3 重点的に取り組みを行う主なもの  
(ハートフル北九州構築関係)

(1) 「子どもの未来をひらく教育改革会議」の開催

・子どもの未来をひらく教育改革会議 6,689千円

(事業概要)

北九州市教育行政総合計画(いきいき学びプラン)を踏まえ、学校、家庭、地域の果たすべき役割及び市民全体で次代を担う人材を育むあり方について、市民の英知を結集し、幅広い見地から議論し、政策提言を行う。

【成果指標】

政策提言の教育施策への反映

(2) 少人数学級の実施

・35人以下学級の実施 116,056千円

(事業概要)

平成20年度から小学校1年生および中学校1年生について、1学級の人数を35人以下とする。また、平成21年度には、小学校2年生まで対象を拡大する予定である。

【成果指標】

目標 小学校1年生・中学校1年生の1学級あたりの児童生徒数を減らす。

効果 小学校1年生 3.2人減

中学校1年生 3.7人減

(3) 「中学校完全給食モデル事業」の実施

・中学校完全給食モデル事業 68,535千円

(事業概要)

中学校完全給食の調査研究の一環として、親子方式(食缶配送)、民間調理場方式(食缶配送、弁当箱配送)によるモデル事業を4校で実施する。

【成果指標】

モデル事業を通して、給食の実施状況、食育上の効果、教育活動への影響などを検証する。

(4) 学校施設整備の促進

児童・生徒・保護者から要望の強いトイレの改修をはじめ、老朽校舎の改築、耐震補強などの施設整備を促進する。

・さわやかトイレ整備事業 711,600千円

(事業概要)

平成18年度まで進めてきた悪臭対策、小学校トイレ完

全男女別化に加え、新たに平成19年度から洋式便器の増設、内壁及び天井等の塗装を実施し、引き続き「明るく、清潔な」トイレを整備する。

**【成果指標】**

平成22年までに、トイレ改修が必要な96校について整備を行う。

- ・小中学校建替事業 4,905,128千円  
(事業概要)

老朽化による学校施設の建替えを計画的に実施し、教育効果の向上と安全でうるおいのある教育環境の整備を図る。

**【成果指標】**

平成20年度は前年度からの継続事業として、7校の建替えを実施する。

- ・耐震補強事業 1,372,900千円  
(事業概要)

学校施設に必要な耐震性を確保するため、校舎等の耐震診断や耐震補強工事を行う。

**【成果指標】**

耐震化率 24.5% 32.4%

- ・大規模改修工事 1,279,400千円  
(事業概要)

教育環境の改善を図るため、学校施設の耐震補強にあわせて、老朽化した給排水管設備等の改修や床、天井及び内外壁の改修を行う。

**【成果指標】**

平成20年度は、7校実施する。

- ・学校施設ふれあい事業 90,000千円  
(事業概要)

学校が児童生徒と地域や保護者とのふれあいの場所となるように安全で環境の良い特色のあるものにするため、学校施設の整備にあたって、地域の意見を聞くなど住民参画の学校づくりを行う。

**【成果指標】**

小・中学校にて年間10校程度実施する。

(5) 「スクールカウンセラー」の活動の充実

・スクールカウンセラーの配置 148,400千円

(事業概要)

全中学校へのスクールカウンセラーの拡充配置を継続し、必要に応じて小学校にも対応する等、引き続き活動内容の充実を図る。

【成果指標】

週8時間 週12時間

(6) 教育ボランティアが活動できる環境を整える

・学校における学生ボランティアの活用 1,045千円

(事業概要)

市内及び近郊の大学と学生の派遣について協定を結び、学生を小中学校等で受け入れ、授業や課外活動などを援助してもらう。

【成果指標】

受け入れ学生数 0人 50人

・スクールヘルパーの充実 62,647千円

(事業概要)

子どもの安全対策や教育活動支援のために活動しているスクールヘルパーについて、その活動内容を引き続き充実させ、地域の人材をより一層活用していく。

【成果指標】

スクールヘルパー活動のべ人数 100,000人

(7) 子どもたちの体力・学力の向上

・新体力アップ推進事業 65,338千円

(事業概要)

小学校段階ではダンス活動等による全体の底上げを図り、中学校段階では部活動等を通じた更なる体力の向上を図る。

【成果指標】

新体力テストの結果 全国平均以下 全国平均以上

・学力向上推進事業 40,260千円

(事業概要)

平成19年度に引き続き、「全国学力・学習状況調査」「観点別到達度学力検査」を実施し、児童生徒一人ひとり及び学校の課題や、本市の施策の効果等を明らかにし、各学年における学習指導の改善を図る。

【成果指標】

学力検査の結果 全国平均 全国平均以上

( 8 ) 文化・スポーツの充実

・博物館等の企画展充実 237,315千円

(事業概要)

豊かな感性の育成と教養文化の向上を目指して、自然史・歴史博物館(いのちのたび博物館) 美術館、松本清張記念館、文学館で質の高い標本・作品などに接する機会を提供する。

【成果指標】

入館者数 284,742人 353,600人  
文学館は平成18年11月開館

・市民チーム育成支援事業 30,000千円

(事業概要)

多くの市民や地元企業とともに、市民サッカーチーム「ニューウェーブ北九州」を育成し、支援する。

【成果指標】

Jリーグへの昇格

( 9 ) スポーツ施設の整備

・若松運動場改修 33,621千円

(事業概要)

全国大会等の大規模な大会を誘致し、スポーツ振興を推進することを目的として、若松運動場を野球場に改修するための、測量調査、実施設計等を行う。

【成果指標】

全国大会など大規模大会の誘致

4 事務事業の見直し等

( 1 ) スポーツ施設予約システムの見直し

ハードウェアやソフトウェアを、本市が所有・管理する現行のインターネット方式から、業者が所有・管理するASP方式に変更し、利用者の利便性向上を図るとともに、使用機器等の見直しを行い経費を削減する。